

令和7年 8月12日

派遣成 果 報 告 書

有田市議会議長 様

議員氏名 一ノ瀬 敦子

有田市議会の議員派遣に関する要綱第5条の規定により、下記のとおり報告します。

記

研修名	サマーセミナー2025in香川 「多様性がつなぐ未来」
研修期間	令和7年8月7日（木）～ 令和7年8月8日（金）
研修場所	1 全国市町村国際文化研修所（大津） 2 市町村職員中央研修所（千葉） 3 地方議員研究会（ ） 4 その他（フェミニスト議員連盟）
研修の成果	別紙のとおり

※ 「研修の成果」は研修内容や所感などを具体的に別葉に作成して添付してください。

※ 研修先から交付される「終了証」等を添付してください。

令和7年8月7日・8日

全国フェミニスト議員連盟セミナー 2025 in 香川
「多様性がつなぐ未来～分断を超えるわたしたちのチカラ」

◎情報の海で迷わないために～多様性とメディアリテラシーの接点

講師・高橋純子さん（朝日新聞編集委員、論説委員）

●女性議員（国会）

女性議員の数が増えると、数の原理で強さがでて、国会の風景が変わってきた。

●SNS の影響

「ポピュリズム」

最小公倍数を割り出して、人々を団結させるのではなく、小さな集団の情念を煽り足し合わせようとする。

「大衆 vs エリート」

イデオロギーの相違を希釈し、単純な図式に基づく政治的な対立を再定義。

（アルゴリズム→カオスの仕掛け人）

●小選挙区の特性…敵と味方を分ける分断政治

投票率 60%では当選人の確保を死守!

・なぜ死守するのか？

議論プロセスをせず、強行採決ができる。

◎議員活動とメディア

パネルディスカッション

村上さと子さん（北九州市議会議員）

佐々木きえさん（河南町議会議会）

●発言の切り取り・虚偽の編集・物品の送り付け

様々な嫌がらせに対しての事例や対応など。

◎女達が語る阪神・淡路大震災

「災害をジェンダーの視点から検証して」

講師・正井禮子さん（ウイメンズ、ネットこうべ）

●2011年 イスタンブール条約

人権条例に40カ国が批准しているが日本は出遅れている。

●避難所運営において

女性目線が必要!! 男性目線だと細部まで配慮が行き届かない。

◆災害避難所で唯一

日本赤十字社が運営した避難所（スフィア基準）

- ・乳幼児家庭や障がいのある方の部屋が作られた。

「ウイメンズハウス」の取組を通して、DV や虐待など、暴力から逃れようとする女性や子どもたちが、一時的にでも安心して過ごせる「場所」の重要性を、改めて実感しました。

災害時、避難所の運営からこぼれ落ちてしまう女性や子どもの声。阪神・淡路大震災や東日本大震災を経て、その視点の欠如がいかに深刻な影響を及ぼすのか勉強しました。国際的な基準（スフィア基準）に基づいた運営の必要性や、保育機能の整備など、私たちの地域でも真剣に取り組むべき課題であると考えます。

また、震災後の生活再建においても、女性たちに偏る負担の大きさや、心のケアの必要性を無視できません。制度が追いついていない現実を見つめ、例えば「被災者休暇」のように、誰もが必要な時に休み、支えられる仕組みづくりが今後、求められていると講和されていました。

子どもへの性被害についても、安心して話せる環境づくり、そして社会全体で守る意識の共有が必要です。「助けて」が言えない現状を変えていくために、これからも一人ひとりの声を大切にしながら、学びを続け、行動していきたいと思います。